

第 28 回 ISOE 運営委員会議事概要

1. 日時：平成30年12月6日（木）9:00～18:00

平成30年12月7日（金）9:00～13:00

2. 参加者：33名（ISOE技術センター事務局；ATC、NATC、ETC、IAEATC、カナダ、韓国、英国、スペイン等のNational Coordinator（NC）、電力会社、規制機関およびNEA事務局）

3. 内容

- ・ ISOEの各技術センターが、各々の技術センターが今年度実施した活動内容（データ入力、シンポジウム開催等）及び各技術センターのPI（パフォーマンスインディケーター）を紹介した。
- ・ Bureauで検討された通り、ISOEの構造を改革するための新たなタスクグループ（NEA事務局経費を検討するためのグループ）が提案された。タイムスケジュールは、以下の通りである。
タスクグループ構成：2019年1月末
意見収集：2019年2月～4月
MBへの提案資料考察：2019年4月～6月
臨時MB開催：2019年6月
ISOE規約改訂：2019年7月～12月
- ・ 下記の国々のNCから国別報告がなされた；ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、日本、韓国、オランダ、スロベニア、スペイン、英国及び米国。
- ・ WGDECOM議長より、活動報告および今後の活動計画についての発表が行われた（ウェブ会議経由）。
- ・ WGDA議長より、活動報告および今後の活動計画についての発表が行われた。
- ・ 冊子（Work Management to Optimise Occupational Radiological Protection at Nuclear Power Plants）改訂タスクグループ議長より、キックオフミーティングの内容が紹介された。
- ・ 2019年度の活動について、各TCより発表があった。ATCからは、日本国内で「放射線防護のためのベンチマーク」を実施する予定である旨が説明された。
- ・ カントリーレポートの出版状況が紹介された。
- ・ 次期議長（Guy Renn：英国）、その次の議長（Bradley R. Boyer：米国）、次期副議長（Hussain Ali ABDUL QADER SALEM ALKATHEERI：UAE）が承認された。

- ・ 次回の会議は、2019年10月に中国の北京で行われる国際シンポジウムの後を目処とする事が提案された。

以上